

SORA

web magazine 2020.feb. vol.128

Indonesia *Travel* Maratua

Photo & Text : Yasuaki Kagii

MAP
CLICK!

インドネシアのマラトゥアで、 無限バラクーダの渦に巻かれる！

大物好きのダイバーには、もう認知度が高くなったマラトゥア！ なんとと言ってもビッグフィッシュカントリーというすごい名前のポイントで出会える無限バラクーダは、ダイバーの心を驚かす。それ以外のポイントは、インドネシアの海らしくマクロの生き物が豊富で納得。サンガラキ&カカバンへの遠征ダイブもあるし、リゾートはこじんまりとした心地よい環境で、ダイバーのための島だし！ ぜひ、要チェックですよ！

まずはマラトウアまで!

さてさて、マラトウアに行くまでの飛行機や乗り継ぎのこと。
 日本(私は羽田空港)を出発して、一路ジャカルタへ。インドネシアの入国は、30日以内の観光ならビザがいらなかったの、そのままイミグレーションに。外国人は赤色のレーンでした。イミグレで「マラトウアにダイビングに行く」と伝えたらすぐにOKがでた。ターンテーブルで荷物をピックアップ。到着はターミナル3だったけど、その夜に泊まるジャカルタエアポートホテルまで移動しなくてはならない。まず出口を出て、セキュリティの制服を着た人に聞くと、すぐに空港建物の斜め前にあるモノレールを指して、「あれに乗って、ターミナル2まで」と伝えられる。なるほど。乗り場が2階なので、エレベーターで2階へ。で、係の人にどっちのモノレールか聞いてホームで待った。ここで一つ厄介なのが、モノレール内にカートを入れられないということ。なので、機材を下ろして手で運ぶ。モノレールは30分ごとにあるみたい。ターミナル2までは10分ほど乗っていたかな。降りて、今度はモノレールの乗り場から、ターミナル2の建物まで通路を渡る。この通路は1階上にあるので、移動が少し面倒……。でも通路を渡ってターミナル2に入ると、すぐ左側にジャカルタエアポートホテルがあったので、それは楽チンだった。ホテルの入口で荷物のセキュリティチェックがあり、エスカレーターを使ってフロントまで行く。フロントでチェックインして、荷物をストレージに預けたいと申し出ると、ストレージはエスカレーターの下だという……。でもフロントの人が「後で、俺が持っていくから」と言ってくれたのでそのままにしておくと、朝まで私の荷物はフロントの隣に置いてあった(安全なとこ)。



Indonesia Travel Maratua

インドネシア・マラトウア



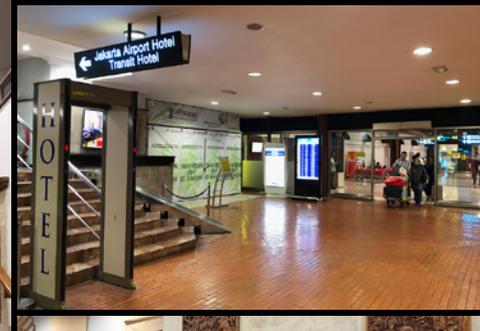
Jadwal Kereta Api Bandara Sekeloa-Hatta
 Sekeloa-Hatta Airport Train Schedule

Waktu Keberangkatan	Waktu Kedatangan	Waktu Keberangkatan	Waktu Kedatangan
06:30	06:30	06:54	07:10
06:50	07:00	07:24	07:40
07:10	07:20	07:44	08:00
07:30	07:40	08:04	08:20
07:50	08:00	08:24	08:40
08:10	08:20	08:44	09:00
08:30	08:40	09:04	09:20
08:50	09:00	09:24	09:40
09:10	09:20	09:44	10:00
09:30	09:40	10:04	10:20
09:50	10:00	10:24	10:40
10:10	10:20	10:44	11:00
10:30	10:40	11:04	11:20
10:50	11:00	11:24	11:40
11:10	11:20	11:44	12:00
11:30	11:40	12:04	12:20
11:50	12:00	12:24	12:40
12:10	12:20	12:44	13:00
12:30	12:40	13:04	13:20
12:50	13:00	13:24	13:40
13:10	13:20	13:44	14:00
13:30	13:40	14:04	14:20
13:50	14:00	14:24	14:40
14:10	14:20	14:44	15:00
14:30	14:40	15:04	15:20
14:50	15:00	15:24	15:40
15:10	15:20	15:44	16:00
15:30	15:40	16:04	16:20
15:50	16:00	16:24	16:40
16:10	16:20	16:44	17:00
16:30	16:40	17:04	17:20
16:50	17:00	17:24	17:40
17:10	17:20	17:44	18:00
17:30	17:40	18:04	18:20
17:50	18:00	18:24	18:40
18:10	18:20	18:44	19:00
18:30	18:40	19:04	19:20
18:50	19:00	19:24	19:40
19:10	19:20	19:44	20:00
19:30	19:40	20:04	20:20
19:50	20:00	20:24	20:40
20:10	20:20	20:44	21:00
20:30	20:40	21:04	21:20
20:50	21:00	21:24	21:40
21:10	21:20	21:44	22:00
21:30	21:40	22:04	22:20
21:50	22:00	22:24	22:40
22:10	22:20	22:44	23:00
22:30	22:40	23:04	23:20
22:50	23:00	23:24	23:40
23:10	23:20	23:44	00:00



JAKARTA AIRPORT HOTEL
 FREE HOTEL SHUTTLE

02:00 AM
02:30 AM
03:00 AM
03:30 AM
04:00 AM
04:30 AM
05:00 AM
05:30 AM
06:00 AM
06:30 AM
07:00 AM
07:30 AM



Indonesia Travel Maratua

インドネシア・マラトゥア

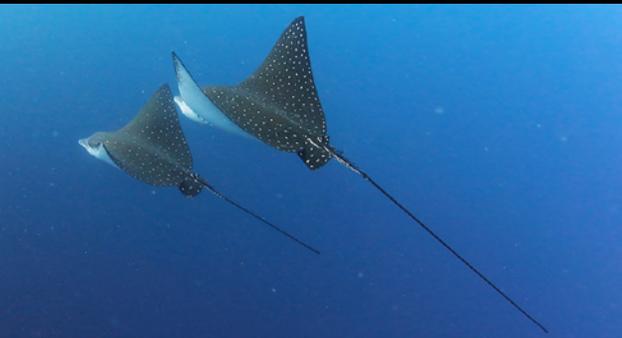


部屋は綺麗で、すごく良かった。夕食はホテルの近くに、A&WやサークルKなどもあるので、とても便利。そして、翌朝のフライトが朝の4時55分だったので、早めの行動で3時にフロントに行き、フリーホテルシャトル(タクシー)に乗った。朝フロントに行けば、タクシー乗り場まで連れて行ってくれる。タクシードライバーにどこ行きかを伝えて、ターミナル3へ。約10分ほどで到着した。そして、チェックインして、バリクパバン経由でベラウまで飛んだ。ベラウの空港で、送迎の方に出迎えてもらう。名前の看板はなく、日本人ということで簡単にわかったのか、すぐに声を掛けてもらう。送迎車で約10分移動して、ボート乗り場まで。ボート乗り場の前に、簡単なストアがあるので、お菓子や飲み物は購入できる。そしてボートで約3時間、ナブコアイランドリゾートへ!





Indonesia Travel Maratua インドネシア・マラトゥア



マラトゥアでのダイビング開始!

初日の1本目は、リゾートからボートで10分ほどのポイント、スモールフィッシュカントリーへ。5mのサンゴのリーフからドロップオフに落ち込むポイント。ドロップオフ沿いには、いくつかのくぼみなどがあり、そこでハゼなどを見つけることができる。水深20mにスミレナガハナダイのオスとメスがいて、メスは40匹以上の群れていた。この水深より下を探索していくと色々みつかるとは思えないが、まずは最初のダイブなので、水深に気をつけていく。せっかく遠くに来たのだから、バラクーダの群れ! と焦る気持ちを抑えつつ、マクロの生き物を楽しんでいく。ガイドのジョンが、色々とリクエストしていたウミウシを見せてくれる。ウコンハネガイもいた。何の変哲もないリーフだが、サンゴは普通に豊かで、ハナムロやカスミチョウウオの群れもよく見かける。最後にカメラを2匹見つけて、ダイビングを終えた。

2本目はジャックポイント。ここはスモールフィッシュカントリーの隣のポイントで、地形的にも生物的にもとても似ている。オラウータンクラブやメグスの仲間を撮影して、浅瀬のサンゴの豊かさに目を見張った。マクロの視点ばかりで潜っていくけど、ワイドの視点で潜っても、当たり前にあるリーフの豊かさがすぐ手にとるようにわかる。最後、水面を流れるゴミと浅瀬のサンゴ礁を撮影した。以前はこんな撮影しなかったかも……時代ですね……(笑)。

3本目は、ビッグフィッシュカントリーへ。リゾートから約5分と最も近いポイント。新月周りで潮の流れも速く、バッチリのタイミング。エントリーしてすぐにマダラトビエイ2枚と出会う。運よく接近もでき、撮影も成功する。その後チャンネルに向かい、途中で何匹もサメが行き交い、ウメイロモドキが彩りを添える。チャンネルのコーナーで少しストップ。アジの群れが深い海底から湧き上がってきた。そのままチャンネルをクロスしていく。30mの海底にカマスの群れは見えなかったが、それは追いかけて。反対側のコーナー付近でギンガメアジが群れていたため、そこは撮影。水深を20mまで上げ、フックをかけて待つが、バラクーダの群れは現れず……。あれ? ずっといるはずなのに見落とした??? 明日もあるから、明日のお楽しみ! と前向きな気持ちで初日を終えた。





マラトウアダイブ2日目!



Indonesia Travel Maratua

インドネシア・マラトウア

2日目の1本目は、シーウォールへ。ここもポイントが並ぶリーフの延長のポイントで、昨日の1本目、2本目のポイントと基本的に同じ地形。今回は水深20mのところ、ピグミーシーホースをガイドのジョンが見せてくれる。なかなか優しい見せ方(これは好印象)で、擬態を見破りながら、撮影するのは、とても難しかったかな。その後も、ウミウシやエビカニ類やテングカワハギなどのマクロの生き物を見つけていく。マクロの視点を、よりマクロのスーパーマクロの視点で楽しむと、より楽しむことができるかもしれないと思った1ダイブでした。

2本目はタートルベイへ。ここも同じリーフ沿いなので、地形の変化はそれほどない。それでも、ポイント名の通りカメラは確かに多かった! 浅瀬のサンゴがとても美しく、少し眺めながら泳いでいくと、あるサンゴの上にお魚が集まり、そこにツバメウオの群れとカメラがいた。とても平和な景色に思え、思わず息を飲んだ。私の印象を写真でもっと伝えるためには、本当は太陽の光の反対側から撮影したかったけど、そうはうまくいかない。ガイドが変更になってアルフォンソだった。彼は、約5年前に私が来たことを覚えていてくれた。彼も小まめにマクロの生き物を教えてくれる。彼のタイミングが良いのか、なぜだか撮影がテンポよく進んでいく。少しこの海の攻略法? がわかってきたのかもしれない。

今日の3本目もビッグフィッシュカントリーへ。狙いは、あの憧れの大きなバラクーダの群れだけど、今日も現れず……。ガイドのアルフォンソに聞くと、ここ数日は新月周りで、潮の流れが速く、それを狙って周辺のリゾートからもダイバーがたくさんやって来たので沖合に行ったのでは? と……。苦笑。潜り続けるしかない。バラクーダはいなかったが、ちょうど良い潮の流れで、マダラトビエイ、サメ、ロウニンアジ、カマスの群れ、イケカツノの群れなどを楽しんだ!



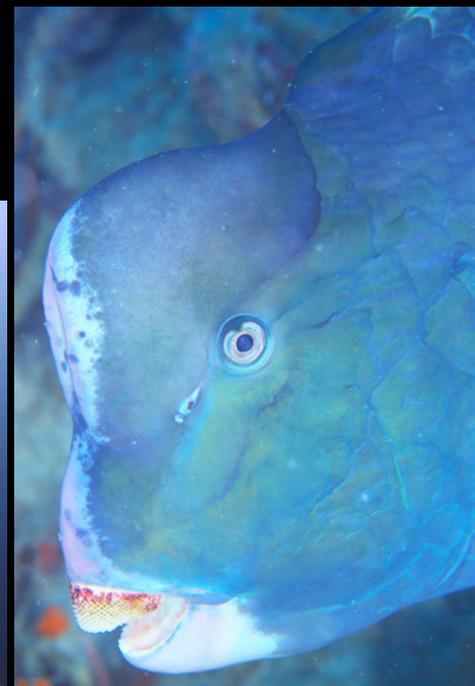
ビッグフィッシュカントリーで 軽くジャブ!

Indonesia *Travel*
Maratua
インドネシア・マラトゥア

3日目の1本目は、ケブリポイント。このポイントもタートルベイやジャックポイントの並びで、少し北に位置するポイント。海中の様子は同じで、ミナミゴンベやクダゴンベなど、水深は平均15mほどで、毎回同じような水深に潜っているのに、見つかるお魚の数は増えていく。ウミウシも多く、交尾のシーンまで見ることができた。浅瀬のサンゴは美しく、スズメダイやイスズミ、カスミチョウチョウウオが群れるとより華やかになる。

2本目は、ミッドナイトスナッパーランというポイントへ。ここもこれまでと並列のポイント。地形は少し変化があり、水深20mあたりに砂地が広がり、これまでのドロップオフや緩やかな傾斜のポイントとは面の感じが違う。砂地の上ではガーデンイールやエイの仲間と出会う。他にガイドのジョンがハダカハオコゼなどを見せてくれる。カメも多く、くほみに顔を入れて大胆に寝ている個体が多かった。白い砂地や生き物の様子から、なんとなく癒し系のポイントのように思える。

3本目は、お決まりのビッグフィッシュカントリーへ。潮の流れも変わらず調子よく、ビュンビュンと流れている。エントリーしてすぐにリーフにフクを掛ける。ダイバーの数も多い。サメが目の前を通るが早めにチャンネルを渡る。渡った先の向かいのコーナーに大きな影。なんと念願のバラクーダの群れだった。しかし、なかなかリーフに接近して来ない。他のダイバーもいるので、ブルーウォーターに突っ込んでいくこともできず。待つ、待つ、そして他のダイバーがいなくなったタイミングで、少し沖合に出て撮影!!! すごい群れ! 感動!! と思いながら撮影してリーフを見ると、他のグループのダイバーの泡が……本当はもっと絡みたかったけど、行儀よく撮影を終えた… (笑)。



来た!!!!!!
無限・無限・無限バラクーダ!!!

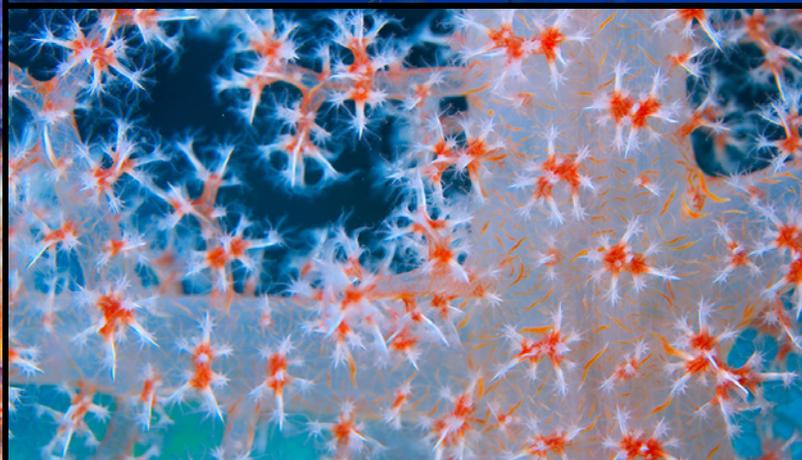
早朝ダイブは、 他のリゾートダイバーは来ないらしい……←ここ大切!(笑)

Indonesia Travel
Maratua
インドネシア・マラトゥア

4日目。今日は早朝ダイブから開始。朝の6時に出発して、ビッグフィッシュカントリーへ。少し暗い海の中、潮の流れだけは変わらず強く流れている。エントリーして、サメはパスしてすぐにバラクーダがいるであろうチャネルを渡ったコーナーの反対に行った。水深15mほどでフックを掛けていると、沖合に何か大きな群れが。我慢して待っていてもなかなか寄って来ないので、20分ほど待った後に、少しガイドのフローリアンに付いて沖に出た。そこで出会ったのは、見たこともないサイズの巨大なバラクーダの群れだった。上に下にと視点を変えながら、撮影を続ける。下から撮影した方が迫力が出るな……などと興奮しているくせに、頑張って冷静を保って撮影した。基本的にリーフの上で待っていることが多く、沖合に出ることはあまりないとのこと、状況とダイバーのスキルによるらしい。吉報は、早朝ダイビングは、他のリゾートのダイバーはほぼ来ないということ。なので、人数少なくバラクーダの群れを楽しむことができる。

2本目はルマンタンへ。ここも並びのポイント。地形は変わらずだけど、縦に入る砂地が多いので、そこでガイドのジョンにジョーフィッシュなどを見せてもらった。少し思ったのが、このリーフの魅力はいつも私が使用しているレンズとサイズ感が違うということ。本当はリーフの上にはオレンジ色などソフトコーラルなどがあちこちにあつてすごいカラフルなんだけど、いつものマクロレンズでは大きく、いつものワイドレンズでは小さい感じ。なので、今度このリーフで潜る時はちょっと違う画角のレンズを持ってこよう……最後の最後に気がついた…… (苦笑)。

3本目もビッグフィッシュカントリーへ。ガイドのジョンに、もうサメの場所はすっ飛ばしてバラクーダが居そうな場所に行こう!ってお願いする。で、エントリー! ちゃんとその通りに行ってくれたけど、全てはそうまくは行かないですね。バラクーダの大きな群れは現れず。イエローバラクーダとウミイロモドキの群れと中層ですつと戯れていた。あとリーフの上でカメさんと。同じ船で潜っているドイツ人のリピーターのグループが居て、このポイントで、バラクーダも見ずにただ潮の流れがジェットコースターだ!と流されて遊んでいる毎日……。やってみたら楽しいのかな? (笑)





サンガラキ & カカバンへ遠征ダイブ!

そして、ナブコアイランドリゾートから1デイトリップで行けるのが、サンガラキ&カカバンの遠征ダイブ。潮の干満によってルートが変更となり、まずはカカバンまで。満潮時は50分、干潮時は1時間10分。サンガラキまでは、カカバンから30分ほどかかる(干満関係なし)。そして、カカバンでの1ダイブ。カカバン島周辺のポイントは、カラフルなスポンジやイソバナ、ソフトコーラルが豊かでとても賑やか。ビッグミーシーホースなどのマクロの生き物も豊富で、見所は満載。その後、島の中にある泉へ。周囲をマングローブに囲まれた水中環境の中で、たくさんのクラゲが住んでいる。なんとも幻想的な世界だ。そして、サンガラキ島に移動。狙いはマンタで、クリーニングステーション、または水面近くで捕食するマンタトレインを狙う。1日のスケジュールとして、朝8時半ごろに出発して、夕方5時ごろにリゾートに戻ってくる。ランチは、インドネシア料理かサンドウィッチのランチボックスを作ってもらい、ボート上で食べる。やはりマラトゥアに来たら、ぜひ行って欲しい環境が近くの島にあるので、超オススメする。





Indonesia *Travel*
Maratua
インドネシア・マラトゥア

ダイバーのためのナチュラルリゾート! ナブコアイランドリゾート

大きなマラトゥア島の隣にある小さなナブコアイランドで、まとめてマラトゥア島と呼んでいるようだ。1島1リゾートの小さな島で、歩いて1周5分ほど。こじんまりしたサイズ感の良い島。朝日も夕日も少し足を伸ばしてビーチ沿いに行けば、すぐに見ることができる。客室は全18部屋で、シービューが9部屋、ガーデンビューが7部屋、スイートが2部屋。全ての部屋にエアコン、シャワー、トイレ、冷蔵庫などが完備されている。客室は清潔感もあり、またエコに意識が高いため、ナチュラルな感じも良い。島の水は全て海水から精製し、ペットボトルをなくすためにミネラルウォーターもない（bar にソーダ水はある）。水上レストランは、海風が渡る心地よいロケーションで、朝食はフルーツ、パン、フルーツジュースにコーヒー、そして卵料理かナシゴレンなどのインドネシア料理をチョイスできる。ランチとディナーは朝食時に注文で、ランチはサラダかスープにメインの1品を選択、それにデザート。ディナーは前菜と肉料理か魚料理にデザートが付く。ウェイターを始め、島のスタッフは皆、優しくホスピタリティーがあるので、滞在していて楽しい気持ちにさせてくれる。wifi は Bar がメインで、ダイビングセンター、レストランでも繋がる。



ナブコアイランドリゾートのダイビング事情

メインの桟橋にダイビングセンターがあって、ここが基地となる。ここに集合して機材を預けて、洗って干して、ブリーフィングして、すぐ傍からボートに乗り込んでなどすべて。すべてがコンパクトなので、使い勝手は良い。基本的なスケジュールは、朝8時と11時、午後3時のボートダイビングとなる。機材のセッティングなどはクルーが行ってくれるが、フィンマスク、カメラは自分で運ぶ。ほとんどのポイントまでは近く、10~15分。これらのポイントの場合は、1ダイブごとにリゾートに戻るので、非常に楽チン。南のモモカンあたりまでだと30分かかるとのこと。その場合、モモカンの系列リゾートに上陸してランチとなる。それ以外では、遠征するサンガラキ、カカパン島（最少催行

人数4名）がある。これは、1日かけてマンタダイブ（サンガラキ）が2ダイブ。カカパンで、1ダイブ+ジェリーフィッシュレイクのスノーケリング。ダイビングガイドはローカルのインドネシア人（4名）で、英語でのブリーフィング。日本人ダイバーも来るので、ケアの仕方は慣れている。最大水深40mの潜水時間は60分。ナイトロックス完備。基本は、12リットルのアルミタンクだが、2ユーロの追加料金で、15リットルを用意してくれる。時折、早朝ダイブを開催する。朝の6時集合で、ビッグフィッシュカントリーへ。またナイトダイブは月に5回ほど開催可能。ハウスリーフで、満潮の時のみ催行。島内には、カメラ専用ルームが新設されていた。



Indonesia Travel
Maratua
インドネシア・マラトゥア

